

文化・芸術

フランク・ジェリコ「リナイヴオー リ祭壇画」(部分) 模写2点

板、麻布、石こう地、金箔(きんぱく)、テンペラ
各50・0センチ×23・0センチ

木島隆康(東京芸大名誉教授)

現在、大川美術館のコレクションの最初の展示室では、「ヨーロッパ古典絵画の模写」と題して、模写作品9点をご覧いただいています。木島隆康氏(東京芸術大学名誉教授)を中心に活動している「古典絵画技法研究会」のメンバーによる作品です。原画は15世紀前半、イタリアのフィレンツェで活躍した画家フランク・ジェリコによる祭壇画で、その部分模写です。

日本では、油彩画以前、およそ16世紀までの絵画技法であったテンペラ画について、本格的に研究され始めたのは1970年代からです。テンペラ画とは、一般に顔料を卵黄で練って絵の具にして描く技法で、今日ではまったく廃れていません。しかしながら今でも失われていない古典絵画の深い輝きは、この技法によって生まれたのです。

(田中)

名画の扉

大川美術館コレクション展
「ヨーロッパ古典絵画の模写」から

